令和6年 第5回南九州市農業委員会 議事録

1. 日 時 令和6年5月31日（金） 午後2時00分～

2. 場 所 穎娃保健センター

3. 出席委員(14人)

会 長

会長職務代理 2番 大隣 初美

委 員

4番 吉崎 久男	5番 東垂水 勝秀	
6番 松永 克生	7番 高江 京子	
9番 福元 幸志	10番 松蘭 勝郎	11番 下之門 信洋
13番 大坪 幸博	14番 桑代 純一	
15番 栢川 明子	16番 松村 孝徳	17番 池田 慎
18番 梶山 俊孝		

4. 欠席委員(5人)

1番 本木下 裕一	3番 月野 貴大	8番 永山 明美	12番 六反田 達郎
19番 宮原 俊郎			

5. 議 題

- 開会の宣言
- 会長諸般の報告
- 事務局長諸般の報告
- 開議の宣告
- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 会期決定の件
- 日程第3 議案審議に係る通知事案について
- 日程第4 農業経営改善計画認定者の報告について
- 日程第5 議案第28号 農業振興地域整備計画変更（案）の意見決定について
- 日程第6 議案第29号 農地法第3条許可申請に対する許可について
- 日程第7 議案第30号 農地法第4条許可申請に対する許可について
- 日程第8 議案第31号 農地法第5条許可申請に対する許可について
- 日程第9 議案第32号 旧農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画に対する意見決定について
- 日程第10 議案第33号 農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に対する意見決定について
- 日程第11 議案第34号 非農地証明願について
- 日程第12 その他

- 閉議の宣告
- 閉会の宣言

6. 農業委員会事務局職員

事務局長 宇都 寿彦
農政係長 折尾 武志 松下 剛史
農地係長 神村 洋一 赤崎 隆明

7. 会議の概要

開 会 午後 2 時 00 分

事務局長 御起立願います。

「一同 礼」

御着席願います。

議 長 本日、会長の欠席に伴い南九州市農業委員会会議規則第 7 条第 2 項の規定に基づき議長を務めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、出席確認を行います。本木下会長、月野委員、永山委員、六反田委員、宮原委員から一身上の都合により、欠席届が提出されております。ただいまの出席人員は 14 名で、会議の定足数に達しております。

これより令和 6 年第 5 回 南九州市農業委員会総会を開会いたします。

議 長 まず事務局長より会長及び事務局長諸般の報告をお願いします。

事務局長 (諸般報告をおこなう。)

議 長 只今の、会長・事務局長諸般の報告に対しまして、質問、御意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 ないようですので、これより本日の会議を開きます。

会議録作成に必要ですので、質疑、意見等発言を求める委員は、挙手のう え、自分の議席番号を言ってから発言してください。

議 長 日程第 1 「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員は会議規則第 19 条第 2 項の規定により、6 番松永委員、7 番高江委員を指名し、会議書記に農政係長を指名いたします。

議 長 日程第 2 「会期決定の件」を議題に供します。

お諮りします。本会議の会期は、本日 5 月 31 日の 1 日間で御異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りの 1 日間とすることに決定しました。

議 長 日程第 3 「議案審議に係る通知事案について」事務局の説明を求めます。

農地係長

説明致します 3 頁～13 頁でございます。

農用地利用集積計画の合意解約による通知事案が 46 件ございました。

貸人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さんの相続人代表の〇〇〇〇さん、借人は同じく穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん外 45 件です。貸人主導によるもの 3 件、借人主導によるもの 43 件です。

地目の内訳は、田 7 筆 9, 292 m², 畑 94 筆 183, 900 m²の合計 101 筆 193, 192 m²で、穎娃地域 27 件、知覧地域 9 件、川辺地域 10 件です。

なお、各頁一番右端備考欄に記載があります筆が、後程審議いただきます議案審議に関する合意解約案件でございます。

以上で説明を終わります。

議 長
委 員
議 長

只今の事案について、質疑はありませんか。

「なし」の声あり

質疑なしと認めます。

只今の案件につきましては、通知事案でございますので、御了承いただきたいと思えます。

議 長

続きまして、日程第 4 「農業経営改善計画認定者の報告について」を議題とします。事務局に説明を求めます。

農政係長

説明いたします。

資料は 15 頁からになります。今回は再認定 3 件で営農類型としては、専業で茶 2 件、施設・露地野菜 1 件であります。穎娃地域 2 件、知覧地域 1 件です。

資料の 17 頁が一覧表となっておりますので、お目通しをお願いいたします。

以上で報告事項の説明を終わります。

議 長
委 員
議 長

只今事務局から報告のありました件について、質問はございませんか。

「なし」の声あり

質問なしと認めます。

只今の案件につきましても、報告事案でございますので、御了承いただきたいと思えます。

議 長

次に日程第 5 議案第 28 号「農業振興地域整備計画変更（案）の意見決定について」を議題とします。

まずもって、現地調査員の報告をお願いいたします。栢川委員お願いします。

15 番委員

報告いたします。19 頁の審議番号 1 番です。関連資料は 20 頁から 24 頁になります。

申請人は、川辺町〇〇の株式会社〇〇〇〇です。申請地は、川辺町〇〇字〇〇〇番、田 909 m²で〇〇自治会に位置します。

申請人は市内で〇〇業を営む法人であり、周辺地域に宅地の需要があることから、申請地を特定建築条件付売買予定地としての宅地造成を行うため、農用地区域から除外するものです。

申請地の北側東側は市道に、西側南側は田に接しています。0.9m 程度の盛土を行いますが、よう壁を設けるので土砂流出等の恐れはなく、雨水は自然流下で水路へ、住宅建築後の汚水・生活雑排水は合併浄化槽を介して水路へ放流し日照・通風等については、建築物の高さを抑制するので周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長 ここで事務局に補足がありましたら説明を求めます。
農地係長 補足説明いたします。

代替地を検討しましたが、適地が見つからず、農用地区域の外周部に接し、農地の集団化・農作業効率化に支障はないこと、用排水路の機能低下はないことから除外の要件を満たしていると判断されます。

以上で補足説明を終わります。

議 長 只今説明のありました案件について審議をお願いいたします。
委員 質問、御意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり
議 長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 28 号「農業振興地域整備計画変更（案）について」は、申請理由からしてやむを得ない変更として適当意見とすることに御異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり
議 長 異議なしと認めます。

よって、議案第 28 号については、申請どおり適当意見とすることに決定いたします。

議 長 次に、日程第 6 議案第 29 号「農地法第 3 条許可申請に対する許可につ

いて」を議題とします。

農地係 事務局に提案説明を求めます。
説明いたします。26 号～27 号の 3 条所有権移転 8 件でございます。

議渡人は鹿児島市の〇〇〇〇さん、譲受人は川辺町〇〇の〇〇〇〇さん外の申請です。

地目の内訳は田 14 筆 10,335 m²、畑 7 筆 7,427 m²の合計 21 筆 17,762 m²で、理由につきましては規模拡大 5 件、相手方の要望 2 件、自給的農業 1 件です。

10 a 当たりの取引価格につきましては、田が 19 千円から 50 千円、畑が 50 千円から 350 千円です。10 a 当たりの取引価格の平均としましては、田が 32 千円、畑が 243 千円でございます。地域別では、今回は 8 件全てが川辺地域となります。

なお、農地法第 3 条第 2 項各号に定める許可基準に抵触しないかの判断につきましては、申請書及び提出されました 28 号～33 号の調査書、営農計画書及び誓約書について審査し、許可要件を全て満たしていると認められ

ます。

ご審議方よろしくお願ひします。

議 長 只今説明のありました案件について、審議をお願いいたします。
質問、御意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり
議 長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 29 号「農地法第 3 条許可申請に対する許可について」は、申請どおり許可することに御異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり
議 長 異議なしと認めます。

よって、議案第 29 号の全案件について、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次に、日程第 7 議案第 30 号「農地法第 4 条許可申請に対する許可について」を議題といたします。現地調査員の高江委員から報告をお願いします。

7 番委員 報告いたします。35 号の審議番号 1 番です。関連資料は 36 号から 40 号になります。

申請人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請地は、穎娃町〇〇字〇〇〇番、畑 1,102 m²のうち 522 m²で〇〇自治会に位置します。

申請人は市内で農業を営んでおり、市内の実家で親と同居中ですが、住居が手狭になったことから申請地に農家住宅を建築するものです。

申請地の北側は市道に、東側は里道に、西側は宅地に、南側は畑に接しています。現状のまま利用しますが、土留め工事を行うので土砂流出等の恐れはなく雨水は道路側溝へ、汚水・生活雑排水は合併浄化槽を介して道路側溝へ放流し、日照・通風等については建物の高さを加減するので、周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長 ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。
農地係長 補足説明いたします。

一般基準の資力及び信用、遅滞なく申請用途に供することの確実性並びに周辺の農地に係る営農条件に支障を生ずるおそれの有無につきましては、申請内容、添付書類及び現地調査により確認されていますので、適当であると判断されます。

審議番号 1 番の農地区分としては、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地に該当することから、第 2 種農地の『その他の農地』に区分されます。

以上で補足説明を終わります。

議 長 只今現地調査員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします。

質問，御意見はございませんか。

委員
議長

「なし」の声あり

質問，御意見がありませんので，採決いたします。

議案第 30 号「農地法第 4 条許可申請に対する許可について」は，申請どおり許可することに御異議ございませんか。

委員
議長

「異議なし」の声あり

異議なしと認めます。

よって議案第 30 号に係る案件については，申請どおり許可することに決定されました。

議長

次に，日程第 8 議案第 31 号「農地法第 5 条許可申請に対する許可について」を議題といたします。

まず，現地調査員から報告をお願いします。梶山委員をお願いします。

18 番委員

報告いたします。42 号の審議番号 1 番です。関連資料は 46 号から 49 号になります。

譲受人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん，譲渡人は同じく穎娃町〇〇の〇〇〇〇さんです。

申請地は穎娃町〇〇字〇〇〇番，畑 667 m²で〇〇自治会に位置します。

申請人は市内の会社員で，借家が手狭になったことから申請地に一般住宅を建築するものです。尚，面積が 500 m²を超えていますが，片方が狭小で隣接地との間に土手状の段差もあり，利用面積が制限されるためやむを得ないと思われま

す。申請地の北側東側は市道に，南側は畑に，西側は畑と宅地に接しています。現状のままで利用するので土砂流出等の恐れはなく，雨水は道路側溝へ，汚水・生活雑排水は合併浄化槽を介して道路側溝へ放流し，日照・通風等については建物の高さを加減するので，周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議長
15 番委員

次に，審議番号 2 番から 5 番まで梶川委員をお願いします。

報告いたします。42 号の審議番号 2 番です。関連資料は 50 号から 53 号になります。

譲受人は薩摩川内市の〇〇〇〇さん，譲渡人は熊本市の〇〇〇〇さんです。

申請地は知覧町〇〇字〇〇〇番，畑 122 m²で〇〇自治会に位置します。申請人は市外の会社員であり，借家が手狭になったことから，申請地に一般住宅を建築するものです。

申請地の北側東側は宅地に，西側は市道に，南側は里道に接しています。現状のままで利用しますが，境界にはブロックのよう壁を設置するので土砂流出等の恐れはなく雨水は道路側溝へ，汚水・生活雑排水は下水道へ放流し，日照・通風等については建物の高さを加減するので，周囲の農地等へ

影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、42 号の審議番号 3 番です。関連資料は 54 号から 58 号になります。

譲受人は鹿児島市の〇〇〇〇さん、譲渡人は知覧町〇〇の〇〇〇〇と〇〇〇〇さんです。

申請地は知覧町〇〇字〇〇〇番、畑 34 m²ほか 2 筆の計 214 m²で、〇〇自治会に位置します。申請人は市外の会社員夫婦であり、借家が手狭になったことから、申請地に一般住宅を建築するものです。

申請地の北側は畑に、東側南側は宅地に、西側は市道に接しています。〇〇と〇〇〇についてはほぼ現状で、〇〇〇については 0.3m 程度盛土をして利用しますが、隣接の畑との境界には、よう壁を設けるので土砂流出等の恐れはなく雨水は道路側溝へ、汚水・生活雑排水は下水道へ放流し、日照・通風等については建物の高さを加減するので、周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、43 号の審議番号 4 番です。関連資料は 59 号から 62 号になります。

譲受人は川辺町〇〇の有限会社〇〇〇〇、譲渡人は大阪府〇〇の〇〇〇〇〇さんです。

申請地は川辺町〇〇字〇〇〇番、畑 149 m²で〇〇自治会に位置します。申請人は市内で〇〇業を営む法人であり、申請地と隣接する宅地を合わせた宅地分譲を行うものです。

申請地の北側東側南側は宅地に、西側は市道に接しています。現状のまま利用しますが、境界にはブロックのよう壁が設置してあるので土砂流出等の恐れはなく雨水は道路側溝へ、住宅建築後の汚水・生活雑排水は合併浄化槽を介して道路側溝へ放流し、日照・通風等については建物の高さを加減するので、周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、43 号の審議番号 5 番です。関連資料は 63 号から 68 号になります。

譲受人は川辺町〇〇の株式会社〇〇〇〇、譲渡人は鹿児島市の〇〇〇〇〇さんです。

申請地は川辺町〇〇字〇〇〇番、田 909 m²で〇〇自治会に位置します。申請理由、被害防除対策等につきましては、先ほど農振用途変更で報告しましたので省略します。

以上で報告を終わります。

議長
18 番委員

次に、審議番号 6 番から 7 番まで梶山委員お願いします。

43 号の審議番号 6 番です。関連資料は 69 号から 73 号になります。

譲受人は頰娃町〇〇の有限会社〇〇〇〇、譲渡人は福岡県〇〇の〇〇〇〇〇さんです。

申請地は頰娃町〇〇字〇〇〇番、畑 390 m²で〇〇自治会に位置します。

申請人は市内で自動車整備業を営む法人であり、車検及び修理後の駐車場が手狭であることから、申請地を駐車場として整備するものです。

申請地の北側西側南側は宅地に、東側は市道に接しています。0.3～0.5m程度の盛土を行いますが、申請地と市道との高さを調整するため土砂流出等の恐れはなく、雨水は市道側溝へ放流し、日照・通風等については、駐車場として利用するため周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、44 号の審議番号7番です。関連資料は74 号から78 号になります。

譲受人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん、譲渡人は埼玉県〇〇の〇〇〇〇さんです。

申請地は穎娃町〇〇字〇〇〇番、畑 214 m²で〇〇自治会に位置します。申請人は市内で〇〇業を営んでいるが、既存の駐車場に入る取付道路が狭く利用しにくいことから、申請地を駐車場として整備するものです。

申請地は四方を宅地に接しています。尚、現状は原野化しております。現状のまま利用し、土砂流出等の恐れはなく、雨水は市道側溝へ放流し、日照・通風等については、駐車場として利用するため周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長
15 番委員

次に、審議番号8番から11番まで栢川委員お願いします。

報告します。44 号の審議番号8番です。関連資料は79 号から84 号になります。

譲受人は川辺町〇〇の合同会社〇〇〇〇、譲渡人は鹿児島市の〇〇〇〇さんです。

申請地は川辺町〇〇字〇〇〇番、田 614 m²ほか1筆、計 1,155 m²で〇〇自治会に位置します。

申請人は市内で〇〇業を営む法人であり、申請地を貸資材・車両置場兼貸駐車場として貸し出すものです。隣接する建設会社との土地使用貸借契約に係る確約書が提出されています。

申請地の北側西側は水路に、東側は畑に南側は宅地に接しています。現状のまま利用しますが、水路及び畑との間に緩衝地を設けるため土砂流出等の恐れはなく、雨水は水路へ放流し、日照・通風等については、資材置場兼駐車場として利用するため周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、44 号の審議番号9番です。関連資料は85 号から89 号になります。

譲受人は川辺町〇〇の合同会社〇〇〇〇、譲渡人は東京都〇〇の〇〇〇〇〇さんです。申請地は川辺町〇〇字〇〇〇番、畑 162 m²で〇〇自治会に位置します。

申請人は、市内で〇〇業を営む法人であり、申請地を貸駐車場として貸し出すものです。土地使用貸借契約に係る確約書が提出されています。

申請地の北側は山林に、西側南側は市道に東側は宅地に接しています。出入口部分のみ切土を行い、周辺はよう壁が設置しているため土砂流出等の恐れはなく、雨水は道路側溝へ放流し、日照・通風等については、駐車場として利用するため周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、45 号の審議番号 10 番です。関連資料は 90 号から 94 号になります。

譲受人は川辺町〇〇の株式会社〇〇〇〇、譲渡人は同じく川辺町〇〇の〇〇〇〇さんです。

申請地は川辺町〇〇字〇〇〇番、畑 53 m²で〇〇自治会に位置します。申請人は市内で〇〇業を営む法人であり、申請人が資材置場兼駐車場として転用を受けている西側隣接地と一体的に資材置場として利用するものです。

申請地の北側は畑に、東側は県道に西側南側は雑種地に接しています。現状のまま法面として管理を行うため、土砂流出等の恐れはなく、雨水は水路へ放流し、日照・通風等については、そのまま利用するため周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、45 号の審議番号 11 番です。関連資料は 95 号から 99 号になります。

譲受人は川辺町〇〇の株式会社〇〇〇〇、譲渡人は同じく川辺町〇〇の〇〇〇〇さんです。

申請地は川辺町〇〇字〇〇〇番、畑 15 m²で〇〇自治会に位置します。申請人は、市内で〇〇業を営む法人であり、申請人が資材置場兼駐車場として転用を受けている西側隣接地と一体的に資材置場として利用するものです。

申請地の北側は水路に、東側は県道に西側は雑種地に南側は畑に接しています。現状のまま法面として管理を行うため、土砂流出等の恐れはなく、雨水は水路へ放流し、日照・通風等については、そのまま利用するため周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長
農地係長

ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

補足説明いたします。

一般基準の資力及び信用、遅滞なく申請用途に供することの確実性並びに周辺の農地に係る営農条件に支障を生ずるおそれの有無につきましては、申請内容、添付書類及び現地調査により確認されていますので、適当であると判断されます。

所有権移転の審議番号 1 番の農地区分としては、用途地域が定められて

いる区域内にある都市計画用途地域内農地であり第3種農地に区分されます。49頁の建物配置図を参照ください。転用に係る一般基準の中の転用面積について、本県においては一般住宅について概ね500㎡との運用基準がございますが、本申請面積は667㎡となっています。これは申請地を基準の500㎡で仮に分筆した場合、北側又は南側部分の利用しにくい形状の畑が残ってしまうとのことから、やむを得ないと判断致しました。

所有権移転の審議番号2番の農地区分としては、用途地域が定められている区域内にある都市計画用途地域内農地であり第3種農地に区分されます。

所有権移転の審議番号3番の農地区分としては、農地区分に応じた許可基準につきましては、水道管、下水道管が埋設されている幅員4m以上の道路の沿道の区域内にあり、かつ、概ね500m以内に2つ以上の教育施設、医療機関、その他公共施設又は公益的施設が存在する農地であることから、第3種農地の『都市的環境整備農地』に区分されます。

所有権移転の審議番号4番の農地区分としては、用途地域が定められている区域内にある都市計画用途地域内農地であり第3種農地に区分されます。

所有権移転の審議番号5番の農地区分としては、第1種農地と判断されますが、既存の集落に接続していることから第1種農地の不許可の例外である『集落接続施設』に区分されます。代替地を検討しましたが適地が見つからなかったとのことです。

所有権移転の審議番号6番の農地区分としては、用途地域が定められている区域内にある都市計画用途地域内農地であり第3種農地に区分されます。

所有権移転の審議番号7番から11番の農地区分としては、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地に該当することから、第2種農地の『その他の農地』に区分されます。

以上のことから、申請がなされた転用につきましては、やむを得ないと判断されます。

なお、審議番号5番は第1種農地のため、来月、県常設審議委員会の意見聴取となります。

以上で補足説明を終わります。

議長 只今現地調査員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします。

質問、御意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第31号「農地法第5条許可申請に対する許可について」は、審議番号5番については、許可相当で県農業会議へ意見聴取することとし、その

他の 10 件については申請どおり許可することに御異議ございませんか。

委員
議長

「異議なし」の声あり
異議なしと認めます。

よって議案第 31 号について、審議番号 5 番の 1 件は県農業会議へ意見聴取することとし、その他の 10 件は申請どおり許可することに決定されました。

議長

次に、日程第 9 議案第 32 号「旧農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画に対する意見決定について」を議題といたします。

事務局に提案説明を求めます。

農地係長

説明いたします。102 号をご覧ください。「所有権移転」です。

譲渡人は福岡市の〇〇〇〇さん、譲受人は知覧町〇〇の〇〇〇〇さん外 1 件です。設定面積は畑 3 筆 4,891 m²で、理由につきましては規模拡大 2 件です。10 a 当たりの取引価格の平均としましては、畑が 323 千円でございます。地域別では、知覧地域 1 件、川辺地域 1 件です。

続きまして、103 号からの「賃貸借利用権の設定」です。

利用権を設定する者は颯娃町〇〇の〇〇〇〇さん、設定を受ける者は〇〇〇さん外 87 件です。設定面積は田 42 筆 34,188 m²、畑 108 筆 136,358 m²の合計 150 筆 170,546 m²で、颯娃地域 30 件、知覧地域 14 件、川辺地域 44 件となっております。

続きまして、118 号からの「使用貸借利用権の設定」です。

利用権を設定する者は颯娃町〇〇の〇〇〇〇さん、設定を受ける者は、同じく颯娃町〇〇の〇〇〇〇さん外 15 件です。設定面積は田 9 筆 5,364 m²、畑 18 筆 37,026 m²の合計 27 筆 42,390 m²で知覧地域 4 件、川辺地域 12 件となっております。

以上、すべての案件につきまして、その内容は市の農業経営基盤強化基本構想に適合し、その農用地のすべてにおいて耕作又は養畜の事業を行い、また事業に必要な農作業に常時従事し、その土地を効率的に利用することが認められ、併せて当該土地に権利を有する者のすべての同意が得られていることを確認しております。

以上で説明を終わります。

議長

只今説明のありました案件について、審議をお願いいたしますが、賃貸借利用権のうち〇〇委員が 1 番から 3 番、〇〇委員が 45 番から 52 番、〇〇委員が 66 番から 67 番併せて使用貸借利用権の 7 番から 8 番について議事参与の制限に該当しますので、まず該当者のいない案件について、全委員で審議いたします。

質問、御意見はございませんか。

委員
議長

「なし」の声あり

質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 32 号「旧農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計

画」に係る案件のうち、議事参与の制限に該当しない案件については、申請どおり適当意見とすることに御異議ございませんか。

委員
議長

「異議なし」の声あり

異議なしと認めます。

よって、議案第 32 号に係る案件のうち、議事参与の制限に該当しない案件について、申請どおり適当意見とすることに決定しました。

議長

引き続き、議案第 32 号のうち、議事参与の制限に該当する案件について審議を行います。

関係委員にお諮りします。議事の進行上、議事参与の制限に該当する案件については、一括して議事を進行したいところであります。

御異議ございませんか。

関係委員
議長

「異議なし」の声あり

それでは、関係委員の退室を求めます。

(退 室)

議長
委員
議長

これより、質疑を行います。質問、御意見はございませんか。

「なし」の声あり

質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 32 号のうち、議事参与の制限に該当する案件については、申請どおり適当意見とすることに御異議ございませんか。

委員
議長

「異議なし」の声あり

異議なしと認めます。

よって、議案第 32 号のうち、議事参与の制限に該当する案件については申請どおり適当意見とすることに決定いたします。関係委員の入室を許可いたします。

(入 室)

議長

関係委員に報告いたします。

議案第 32 号のうち、議事参与の制限に該当する案件については申請どおり適当意見とすることに決定されました。

議長

次に、日程第 10 議案第 33 号「農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に対する意見決定について」を議題といたします。

事務局に提案説明を求めます。

農地係長

資料は 123 ページから 125 ページになります。

今回の契約開始は令和 6 年 8 月 1 日開始分となっています。

利用権を設定する者は川辺町〇〇の〇〇〇〇さん、設定を受ける者は川辺町〇〇の〇〇〇〇さん外 52 件です。設定面積は、田 3 筆 1,365 m²、畑 50 筆 96,426 m²の合計 53 筆 97,791 m²で、穎娃地域 40 件、知覧地域 3 件、川辺地域 10 件となっております。

以上、すべての案件につきまして、その農用地のすべてにおいて耕作又は養畜の事業を行い、また事業に必要な農作業に常時従事し、その土地を効

率的に利用することが認められ、併せて当該土地に権利を有する者のすべての同意が得られていることを確認しております。

以上で説明を終わります。

議長 只今説明のありました案件について、審議をお願いいたしますが、〇〇委員が39番について議事参与の制限に該当しますので、まず該当者のいない案件について、全委員で審議いたします。

質問、御意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第33号「農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画」に係る案件のうち、議事参与の制限に該当しない案件については、申請どおり適当意見とすることに御異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。

よって、議案第33号に係る案件のうち、議事参与の制限に該当しない案件について、申請どおり適当意見とすることに決定しました。

議長 引き続き、議案第33号のうち、議事参与の制限に該当する案件について審議を行います。

それでは、関係委員の退室を求めます。

(退室)

議長 これより、質疑を行います。質問、御意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第33号のうち、議事参与の制限に該当する案件については、申請どおり適当意見とすることに御異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。

よって、議案第33号のうち、議事参与の制限に該当する案件については申請どおり適当意見とすることに決定いたします。関係委員の入室を許可いたします。

(入室)

議長 関係委員に報告いたします。

議案第33号のうち、議事参与の制限に該当する案件については申請どおり適当意見とすることに決定されました。

議長 次に、日程第11 議案第34号「非農地証明願について」を議題といたします。現地調査員の報告を求めます。高江委員お願いします。

7番委員 報告いたします。127番の審議番号1番です。関連資料は128番から131番になります。

申請人は知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請地は、知覧町〇〇字〇〇〇番、畑337㎡ほか1筆の計647㎡で〇〇自治会に位置します。

平成 11 年頃まで農地として利用していましたが、その後、申請人の夫が農地の一部に農業用倉庫を建築し相続をしたもので、現在も建物が建っています。農地への復元は著しく困難であり、今後も農地として利用する見込みはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長
農地係長

ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

補足説明いたします。

非農地判断につきましては、市の非農地に係る取扱の規定に基づきまして、宅地については建物が完成してからの経過年数や利用状況を考慮した上で、農地への復元は著しく困難であるとともに今後も継続して農地として利用する見込みはないと判断したところでございます。

以上で補足説明を終わります。

議 長

只今現地調査員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします。

質問、御意見はございませんか。

委 員
議 長

「異議なし」の声あり

質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 34 号「非農地証明願について」は、申請理由からしてやむを得ないものとして、申請どおり証明書を交付することに御異議ございませんか。

委 員
議 長

「異議なし」の声あり

異議なしと認めます。よって議案第 34 号については、申請どおり証明書を交付することに決定します。

議 長

次に、日程第 12「その他」でございしますが、委員の方々から何かございませんか。

11 番委員

耕作放棄地が多くて、管理する人がその周囲を草払いするのに経費が発生するため、助成制度はないかの相談を受けた。

局 長

助成金については、遊休農地等活用条件整備事業では、遊休農地を活用する場合の補助であります。今の相談内容でありましたら、事務局で現地調査を行い、市内に在住であれば適正な管理を行うようお伝えし、自分で出来ない方はシルバーセンターに依頼をするなど一時的に解消されます。市外にいる方や連絡の取れない方については、事務局で所有者又は管理者を調査し、文書でお願いする。文書が届くと何らかの反応は頂いているが、連絡のない方には苦慮している状況であります。委員で連絡を取れる方があれば適正管理について声掛けをし、連絡が取れない場合は事務局で先の方法で対応していきたいと考えます。

議 長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

委 員

「なし」の声あり

議 長

ないようでございますが、事務局は何かありませんか。

事務局長

今後の日程について連絡

議 長

只今の件について、御質問はございませんか。

委員 「なし」の声あり
議長 ないようでございますので、以上で本日の総会に付議されました全案件の審議は
終了いたしました。
これをもちまして本日の会議を閉じ、併せて令和6年第5回南九州市農業委員会
総会を閉会いたします。御起立願います。
事務局長 「一同礼」

閉 会 午後2時55分

南九州市農業委員会会議規則第19条第2項の規定により署名する。

南九州市農業委員会議長 _____

会議録署名委員 6番 _____

会議録署名委員 7番 _____